

牧草園藝





社 是

「健土健民」は我が社の理念
より良き種子の開発、採種、流通
より良き飼料の研究、製造、供給
「農業奉公」の社是を通じて
お役に立つよう真剣な努力を
重ねてまいります。
豊かな農業を育て、自然を守る
愛される企業を目指します。

ごあいさつ

平成9年の新春を迎え、皆々様のご健勝と、ますますのご繁栄を心から祈念申し上げ、併せて本年も相変わらぬご愛顧とお引き立てを賜りますよう切にお願い申し上げます。また、日ごろは当社事業につきまして、深いご理解とご協力を賜り、この機会に厚くお礼を申し上げる次第でございます。

昨年暮れには、日米両国で政治の方向を決める選挙が行われました。恐らく今年は経済政策の面、農業政策の面でも、新しい展開を期待できるのではないかと思います。

昨年の動向を振り返って見ますと、経常収支の黒字幅の減少や輸入の増大に見られるように、貿易自由化の進展には大きな弾みがついてまいりました。

他方、狂牛病やO—157問題に見られますように、食料に関する安全性の問題が大きくクローズアップされ、輸入食料や農畜産品の生産の在り方についての国民の関心が非常に高まりました。

また、米国ワールドウォッチ研究所、レスター・R・ブラウン所長が発表した、地球環境破壊と人口増大と食料生産限界に関する論文は、中長期的な食料問題について、深刻な警鐘となりましたことは記憶に新しいところでございます。

日本の農業が世界の農業と自由市場で競争していくためには、生産性の向上によるコストの削減が課題であることは申しまでございません。しかしながら、国民の命を預かる食料には品質と安全性という観点も極めて重要であります。また、国家と言う壁が現にある中で、食料を安定確保するためには、どうしても食料自給率の向上が図られなければなりません。

コスト、安全、自給のバランスをどうとるのかは、産業としての日本農業に与えられた大きな課題であります。私ども農業に深く関連する企業として、この問題に対してどのような貢献ができるのかについて、微力ながら真剣に取り組んでまいりたいと存じます。

牧草・飼料作物・緑肥作物の一層の品種改良、市場性の高い野菜の導入と開発、収穫技術の向上、飼料の開発、家畜飼育技術の研究、家畜排泄物の効率的処理技術の更なる研究と普及など、事業の総力を挙げ、本年も構造変革時代の農業構築のお手伝いをさせていただきます。

新年を迎えるに当たり、皆々様の一層のご発展を重ねて祈念申し上げまして、ごあいさつと致します。

平成9年 元旦

雪印種苗株式会社

取締役社長 種田 泰典